

議会のひろば

2020.5.14 No. 62

今月の
特集

**新型コロナウイルス感染症
拡大防止に向けた議会対応**

特集	P01
2月定例会概要	P03
代表質問・一般質問	P06
みんなの声	P13
議会活動レポート	P14
きかせてママの声他	P15



菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集

新型コロナウイルス感染症 拡大防止に向けた議会対応

「新型コロナウイルス感染症の流行」

2019年12月、中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、その後世界的に拡大し、これまで国内でも様々な対応が求められてきました。

2020年4月7日、東京など感染の状況が深刻な地域を対象に改正新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令されました。4月16日には「緊急事態宣言」が、全都道府県に拡大されました。

菊川市議会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにできることから検討し、次ページのような対応を行ってきました。そのひとつとして、令和2年2月議会中の3月3日から本会議及び委員会等の傍聴を自粛していただくようお願いしています。



本会議は生中継（映像配信）を行っています。

パソコン・スマートフォンなどのインターネット環境が整った通信機器からご覧いただけます。傍聴いただけなかった委員会等については、閉会后、録音音声の貸し出しや議事録をお渡しするなどの対応をとっています。

また、4月10日からは菊川市議会で新たに定めた「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた議会対応」に沿った議会活動を行っています。

市民の皆様におかれましても、不要不急な外出の自粛、丁寧な手洗い、うがいや十分な睡眠等で自己免疫力を高めることに注力していただきますよう、心よりお願い申し上げます。

市議会では、今後も新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、市民の皆様の安全・安心確保のため、市執行部と力を合わせて全力で取り組んでいきます。

本会議（年4回）映像配信（生中継+録画映像）のアクセス数と必要経費

	生中継	録画映像	合計	経費(円)
平成27年度	2,669	880	3,549	1,479,600
平成28年度	3,623	1,635	5,258	2,144,880
平成29年度	3,523	2,382	5,905	2,144,880
平成30年度	2,644	1,245	3,889	2,144,880
令和1年度	1,866	1,441	3,307	2,164,740

※平成27年8月から映像配信開始
(27年度分は8月～28.3月分の集計となります。)

「議会報告会」議会ふれあいミーティング

語ら座あいの開催について

例年6月から7月にかけて各地区において開催しております「議会報告会」につきましては、今年度は各地区の皆様に参加していただく報告会は中止とさせていただきます。報告資料を作成し、6月下旬から各地区センターへ配架、ホームページでも公開し、皆様からの御意見をいただくしくみを整えます。

※この記事は、令和2年4月30日時点でまとめた内容となります。

新型コロナウイルスの感染予防について菊川市議会の対応



- 2月28日 議会運営委員会にて傍聴対応を検討
- 3月3日～ 傍聴自粛の呼びかけ
※本会議・委員会の傍聴をご遠慮いただいています。
- 3月26日 **国へコロナ対策の意見書** 提出
- 4月10日 議会運営委員会にて今後のコロナ対応について検討
- 4月10日 全員協議会にて市長への要望書・コロナ対応について協議
- 4月14日 ホームページで市議会の新型コロナウイルス対応公表
- 4月14日 **市長へ要望書** 提出
- 4月23日 全員協議会にて市の新型コロナウイルス対応の説明を受ける
- 4月30日 全員協議会・議会運営委員会
- 5月7日 臨時議会

国への意見書

新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

中華人民共和国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス感染症は、いまだに治療方法が確立されていないことから、国内はもとより世界中で感染が拡大し、日本企業の活動停滞や訪日旅行者の減少など日本経済に影響を及ぼしている。

政府においては、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、帰国者等への支援、国内感染対策の強化や水際対策の強化、更には、新型コロナウイルス感染拡大に備える「改正新型インフルエンザ等対策特別措置法」の成立、また、影響を受ける産業等への緊急対応にも取り組んでいるが、全国的な感染拡大を受け、静岡県内においても感染事例が3例あることや感染しても症状がない「無症状病原体保有者」も確認され市中感染が危惧されている状況である。

本市でも速やかに、感染予防対策を講じられるよう対策本部を設置し、市民への感染予防の周知や小・中学校の臨時休校、市主催のイベントの自粛、議会傍聴者入場規制等による「市民への安全」を優先し感染予防を進めてきたところである。

国においては国民の安全・安心を守るため、地方公共団体・医療関係者等の関係団体や関係機関が緊密に連携して適時適切な、感染拡大防止対策や追加の経済対策等の適切な取り組みが求められる。

よって、国におかれては、新型コロナウイルス感染症対策の強化等を図るため、下記事項についての措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 感染者の早期発見及び重症化防止のため、地方における検査・医療体制の強化に向けた支援を充実させるとともに、ワクチン及び簡易検査キットの早期開発を図ること。
- 2 感染症指定医療機関等における医療機器の整備、医療物資の確保に対する支援を行うとともに、医療従事者や救急隊員等搬送従事者が安心して従事できるよう、院内感染防止のための医療機関に対する相談支援や構造設備の変更に対する支援を速やかに行うこと。
- 3 地域経済の影響を踏まえた対策を実施するとともに、地方自治体や医療機関が行う各種対策に要する費用等に十分な財政措置を講ずること。
- 4 消費者、生活者に対する支援を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年3月26日

静岡県菊川市議会

衆議院議長 大島 理 森 様
参議院議長 山東 昭 子 様
内閣総理大臣 安倍 晋 三 様
総務大臣 高市 早苗 様
財務大臣 麻生 太郎 様
文部科学大臣 萩生 田光 一 様
厚生労働大臣 加藤 勝 信 様
経済産業大臣 梶山 弘志 様
内閣官房長官 菅 義 偉 様

市長への要望書

菊議第 12 号
令和2年4月14日

菊川市長 太田 順 一 様

菊川市議会
議長 松本 正 義



新型コロナウイルス感染症による市民への緊急対応を求める要望書

新型コロナウイルス感染症は、いまだにワクチンや治療法が確立されていないことから、国内はもとより世界中で感染が拡大し、企業等の活動停滞や訪日旅行者の減少など日本経済や市内経済に大きな影響を及ぼしている。静岡県内においても感染事例が増加しており、市内においても感染が確認されたことから、本市の感染予防対策本部では、基本方針に基づき市民への感染予防の周知や小・中学校の臨時休校、市主催のイベントの自粛、更に4月から体育館や図書館等市の公共施設の閉館を行っている。

政府においては、国内感染対策の強化や水際対策の強化、さらには、影響を受ける産業等への緊急対応策として、事業活動の縮小や雇用への対応、金融措置、学校臨時休業によって生じる課題への対応等にも取り組んでおり、また、市においては、経済変動対策貸付金利子補給事業の補正や放課後児童クラブの特例期間の条例改正がなされたが、新型コロナウイルス感染症の影響は、長期化するとの予測もあることから、市内の飲食業、小売業、教育・研究、ジム、カルチャー教室、娯楽産業等に個人的消費の減退による経済損失に対する、早急な経済支援措置が求められている。

市議会としても、国に対し医療体制の強化に向けた支援や地域経済影響を踏まえた対策の実施、消費者、生活者に対する支援等の要望をしたが、更に市民の安全・安心を守るため、国や県等の関係団体や関係機関が緊密に連携し、早急な経済対策等の適時適切な取り組みが求められる。

よって、市におかれては、新型コロナウイルス感染症による緊急対応策として、下記事項についての措置を講じられるよう要望する。

記

- 1 市民の生命と健康を守ることを最優先に、関係機関との協力のもと、市民への正確・迅速な情報提供と相談支援の体制を整備する等の万全な対応を図ること。
- 2 市内で新型コロナウイルスに感染した患者が発生した際は、個人情報やプライバシーに配慮しつつ、感染拡大を防止する観点から市民への積極的な情報提供を行うとともに、患者及びその家族の日常生活及び精神的ケアを図ること。
- 3 国の休業補償の対象外となるフリーランスやNPO法人等を含む個人事業主にも独自支援を検討すること。
- 4 新型コロナウイルスの流行により事業活動に多大な影響を受ける中小企業や農業者等に対し、事業の継続ができるよう更なる経済対策を検討すること。
- 5 子ども保育のために、休業するひとり親世帯に市単独休業手当の創設を検討すること。
- 6 教育委員会と連携し、小中学生及び保護者へのより細やかな指導・対応を行うとともに精神的ケアを図ること。
- 7 外国人の就労状況の把握と支援を行うこと。
- 8 国・県の指示を待つことなく指導力を発揮し、素早い決断と対応を行うこと。



2月定例会 審議結果

会期 45日間 令和2年2月12日～3月27日

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	鈴木直博	竹内敏行	横山陽仁	西下敦基	赤堀博	織部光男	小林博文	鈴木啓之	山下修	有海喜一郎	倉部光世	内田隆	水野貞幸	宮城力弘	横山隆一	落合良子	松本正幸
議案第3号	菊川市六郷地区センター条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第5号	菊川市地域振興等基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第14号	令和2年度菊川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第15号	令和2年度菊川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第19号	令和2年度菊川市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第23号	新市まちづくり計画の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長（松本正幸）は採決に加わらない。
すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

令和2年度菊川市各会計当初予算額

(単位：千円)

会計名	当初予算額	前年度との比較
一般会計	19,786,000	381,000
国民健康保険特別会計	4,628,616	△ 124,935
後期高齢者医療特別会計	484,894	43,819
介護保険特別会計	3,482,525	83,194
土地取得特別会計	4	0
病院事業会計	6,670,769	54,664
水道事業会計	1,780,093	△ 39,207
下水道事業会計	1,347,890	216,552
総合計	38,180,791	615,087

令和2年度予算 税金の使い道をチェック

令和2年度の各会計の予算案が市長から議会に提出されましたので、令和2年3月9日、10日、11日に一般会計予算決算特別委員会を開催して審査し、26日の本会議において、すべての予算案が原案どおり可決されました。

審査において
こんな質問がされました

Q 庁内情報システム運用費1億2486万円は大きな事業費だが、市民サービスの向上につながるのか。費用対効果は。

A *RPA、*AI-OCRや議事録作成支援システムの導入費用等業務の効率化を図るため、大きな予算となった。実証実験の結果からICT機器の導入により業務時間の大幅な短縮を見込めた。業務の自動化により、これまでに職員が事務や処理件数の多い入力作業などに費やした時間を生産性の高い業務に充てることができる。職員でなければできない付加価値業務に注力できる環境を作ることが、市民満足度の高い行政サービスの提供につながっていく。システムの契約が今後5年間であるので、費用対効果についてはその中で検証していく。

Q コミュニティバスのデマンド試行運行の体制と検証、分析の方法は。

A 業者に委託し、2路線においてデマンド試行運行を実施する。予約があった便のみ運行を行う。検証及び分析方法は、路線別及び便別の利用者数や停留所ごとの乗降者数、運行の課題や利用者の声などについて委託業者から報告を受け、運行状況を把握する予定。また、職員が同乗して利用状況の聞き取りを行うOD調査や利用者アンケートも画している。これらの結果から、地域公共交通網形成計画に基づき、地域公共交通会議で利用状況やニーズ等を検証し、必要に応じて見直しや改善を図っていく。

Q 情報伝達・避難体制対策事業でハザードマップの作成にあたり、市民の意見は反映される

のか。ハザードマップの形状、完成時期、部数は。

A 地区防災会の会合等で市民の皆さんの意見を伺う。縮尺1万分の1から1万5000分の1のA4版冊子である。完成時期は県管理河川の浸水想定公表時期にもよるが、年度末までに完成させ、令和3年度に配布予定。部数は2万4000部を予定。

Q 企業の誘致活動はどのように行っているのか。

A 令和元年度から静岡県東京事務所企業誘致班に市職員を派遣し、当該職員が行う首都圏における企業訪問時に、

市内遊休地情報の提供を行っている他、企業の動向を情報収集している。引き続き、市内の遊休地情報を市・県のホームページに掲載し、金融機関・不動産業者等へ冊子の定期的な配布を行う。また、市内企業への訪問時に情報収集を行う。

Q 農業振興地域管理事業の考え方と進め方は。

A 農業振興計画の見直しは、10ヘクタール以上の集団的に存在する農用地、土地改良事業、又はこれに準ずる事業の施工区域内にある土地を、優良農地として維持することを基本方針とし、概ね10年後のあるべき農業を想定した計画となるよう考えていく。10ヘクタール未満の一団で土地改良事業の施工区以外の農地で、市の総合計画等で位置付けられている具体的な開発予定地



*「RPA」とは：「Robotic Process Automation」の略語で、パソコンなどを用いて行う一連の事務作業を自動化できるソフトウェアロボットのこと。
*「AI-OCR」とは：AIは人工知能。OCRは紙文書をスキャナーで読み込み、書かれている文字を認識してデジタル化する技術。OCRにAI技術を加えたもの。

があれば、県と協議し農用地利用計画に反映させていきたい。

㊦ コンビニ交付システム保守点検委託料547万円、コンビニ交付証明書交付金センター負担金221万円は毎年度同額か。交付件数、状況は。

㊧ システム保守点検委託料は5年間同額。証明書交付センター負担金は参加自治体数で変わる可能性がある。3種類の証明書の取扱いで、2月は住民票が26通、印鑑証明が23通、所得課税証明が1通であった。年齢等のデータは収集できない。



▶コンビニ交付システムの発行機

㊨ ドクターヘリ格納庫の建設場所と建設費は。

㊩ 建設場所は聖隷三方原病院の近くで、総費用は5億344万円。うち5445万8000円を西部地域の14市町で負担する。

㊪ ロタウイルスワクチンの予防接種の効果と実施年齢、接種回数は。また、なぜ委託料に違いがあるのか。

㊫ ロタウイルスは乳幼児期の重い急性胃腸炎の原因となるウイルスで、ワクチンを接種することで感染予防の効果が期待できる。生後2ヶ月から初回接種が可能となる。ロタリックスが2回、ロタテックが3回と接種回数が異なり、ワクチン単価も異なるため委託料に差が生じている。

㊬ 耐震補強が実施されていない学校はどこか。全校の完了予定は。

㊭ 静岡県においての耐震補強工事は耐震力指数1s値が1.0以下の建物について行われる。令和2年度実施予定の加茂小学校を含め5校となる。

令和3年度に小笠南小学校舎、4年度に小笠東小学校舎、令和5年度には六郷小昇降口と渡り廊下を大規模改造工事と併せて計画している。令和6年度に菊川東中技術棟の改修工事を実施することにより、耐震力の不足する建物はなくなる。

㊮ 小中学校の校務支援システムの内容及び効果は。

㊯ 校務支援システムの導入には3つの事業がある。1つ目は指導要録、出席簿、通信簿、テスト処理など教員の事務処理においてデータを共有

し、効率的に作成するシステム。機能的には県内他市が既に導入しているレベル及び必要不可欠な機能を想定している。2つ目はグループウェアで教員同士が情報交換する共有システムは既に市内全校に導入されているが、その更新業務となる。3つ目はデータセンター構築費用で、小中学校は全て学校独自のサーバーでネットワークを組み運用している。校務支援ソフト導入のタイミングで一括してクラウド化を行う。データの一括保管でセキュリティ強化、今後のサーバーの更新費用の削減が見込まれる。導入の効果としては、教員の事務作業の負担軽減とデータの共有で転記等のミスが防止される。



審査 ピックアップ 議案 第4号

菊川市犯罪被害者等支援条例の 制定について

犯罪被害者等基本法に基づいて、犯罪被害者等の支援のための施策を総合的に推進し、犯罪被害者等の権利利益の保護を図るとともに、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会の実現に寄与することを目的として制定されました。

⑦ 第7条に『市は犯罪被害者等の支援を総合的に実施するための窓口を設置する』とあるが、どこに開設するのか。また、規則は確認できないか。

⑧ 窓口は地域支援課に設置する。規則は例規担当とパブリックコメントの内容の反映について調整を行っている。

⑨ 心理的支援は。

⑩ 警察の心理カウンセラーが対応すると認識している。子どもの場合、学校カウンセラーがフォローを行う。その他の支援として、捜査機関、行政機関、医療機関等への移動等に付き添

うことや家事、育児、就業、介護等に必要な物品の貸与を考えている。

⑪ 時効、遡及という問題は、条例でどう扱うのか。

⑫ 事件・事故の時効については、この条例は被害者等支援であり、該当しないと考える。遡及については、附則の経過措置で「施行の日以降に発生した犯罪等による被害について適用する」となっており、見舞金の給付のみは遡及適用せず、この条例の施行日以降に発生した犯罪による被害について適用する。

代表質問 一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには

菊川市議会 検索

まずは、菊川市ホームページ内菊川市議会トップページへ

ここをクリック

生中継はこちらからご覧になれます

録画映像はこちらからご覧になれます

本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。

代表質問とは？

2月定例会において、市長の施政方針および予算編成方針の内容や考え方を、会派の代表者が質問します。
質問会派：
「市民ネット」「みどり21」

一般質問とは？

市議会議員が市に対して、市民の皆さんの生活にかかわる大切なことを質問します。
あなたの生活にかかわる質問はありますか？
※議員名の下の（ ）は、所属する会派または政党を示します。

質問議員：9名 質問数：15問

代表 明日に向かって変わるまち菊川
市民ネット 質問者・倉部 光世



平成から令和へと時代も変わり15周年という節目に将来の菊川のあるべき姿をみんなで考え、未来に向かってスタートするのはまさに今である。2025年問題。SDGsの目標年である2030年問題。行政サービス持続可能性の危機を迎える2040年問題。様々な課題がある中、幸福、健康、格差の是正などの面から考えると地方への分散型シナリオへ向かうことが持続可能性を高めるといわれ、人口減少が緩やかで、温暖な気候と好立地である菊川市は様々な可能性を考えることができる。

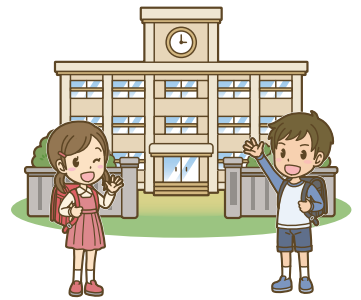
Q 将来の菊川市のあるべき姿、ありたい姿は。関係人口を増やす考え方は。
A 豊かな自然環境との共生と安全で快適な居住環境が実現された住みよいまちである。菊川市と多様に関わる「関係人口」の創出・拡大に力を入れていく。

Q まちを一つにするために行ってきたことは。未だ課題である浄化槽の点検・清掃については。
A 一体性の確立や均衡ある発展を目指し道路整備、施設整備等を行ってきた。下水道整備も進む中、合併浄化槽の管理運営の統一をどう考えていくか研究・検討を進めていきたい。

Q まちの未来を考えられる人材の育成のため財政、重要施策を積極的に市民に公開する必要性は。財政を考える市民会議の立ち上げは。
A 財政の市民理解は行政運営にとって重要なことと考えている。提案の市民会議や他自治体の取り組みを含め研究検討していく。

Q 活用方法の幅を広げるため利用的により会場使用料を発生させるなど公共施設や公共空間の使用する規制緩和の考えは。
A 公共施設については、設置目的に合わせ管理運営していくことが原則。食堂など施設の使い方は若手の職員から提案をもらいながら研究をしていきたい。

Q 小中一貫教育「学びの庭構想」は学舎運営協議会を中心として市民との連携も深めるとあるが現在の市民組織の見直しは。小中学区が統一されていない菊川地域への対応は。
A 学びの庭構想は、地域ぐるみで子ども達を支えると共に、教育環境の向上と地域全体の活性化を目指していくもの。協議会は、PTAや連合自治会、コミ協等代表も参画。組織の見直しは今後事業を進める中で必要に応じ考えていく。菊川地域は、小中、小小連携を工夫しながら進め、校区が統一されていない地域は、市民意見を尊重し丁寧に協議を重ねていく。



Q これから求められる、未来を切り開く構想力のある職員をどう育成していくか。
A 将来のあるべき姿の実現には職員の観察力や分析力、コミュニケーション能力を向上させる必要がある。研究テーマ創案・実践研修、選抜指名研修などに派遣し未来を創造する力を持った職員の育成に努める。

Q 近年都市化や風水害が激甚化する中、被害も大きくなると考えると、新たな視点で取り組みを考えていくことも必要。研究機関等との連携、専門家の知見を取り入れた水害対策など今後研究していく。

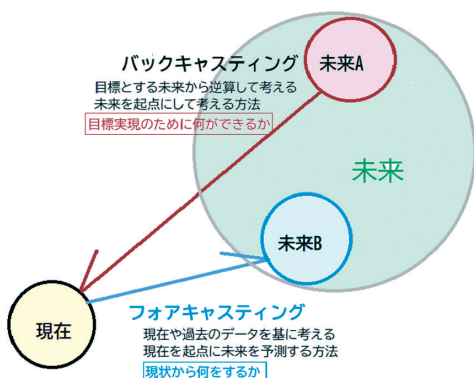


表 施政方針

代 表 施政方針
みどり21 質問者・内田 隆



長期財政計画は平成29年度に策定され、今回合併特例債の期間延長等に伴ない変更案が示されたが、次の点について伺う。

① 合併特例債の総額と今後の計画額は。

② 借入れ上限額は130億2260万円で30年度末までに65億3050万円を借入した。令和6年度までに約61億7000万円を計画している。

③ 合併特例債終了後の投資的事業への考え方は。

④ 新市まちづくり計画に基づく事業は地域振興等基金を活用し、できるだけ有利な充当率の高い起債や補助金を探し活用すると共に、義務的経費の精査により自主的に使えるお金を増やしていく。

⑤ 歳出が現計画の延長計算であるが、検証してのメリハリが必要では。

⑥ 把握可能な範囲の計画であり、社会状況を反映した政策施策についてはその時々予算編成の中で行う。

茶価の低迷により茶業は崩壊的危機に陥っている。施策は茶業振興計画に沿って進められているが、現状は更に悪化していることを踏まえ、次の点について伺う。

⑦ 菊川茶の課題をどのように整理しているのか。

⑧ 高齢化や担い手不足による労働力が低下し、面積や生産量・生産額の減少等が課題である。

⑨ 10a当りの所得の現状は。

⑩ 所得額の把握はしていない。今ある資料では経費を除く前の生葉収入額は平均21万円、また認定農家の場合ではお茶以外の耕作もあり、多い方と少ない方で25万円程度の差があった。

⑪ 課題解決のための具体策は。

⑫ 経営体の強化・茶園の集積、深むし菊川茶ブランドの確立のための地理的表示制度の推進をしていく。

都市計画マスタープランでは11地区が均衡に発展する展望が示されているが、現状をどう捉えているか伺う。

⑬ 均衡ある発展への見解は。

⑭ 3つの都市拠点と11地区の生活拠点の特色を生かしたまちづくりを進める立地適正化計画は、20年30年後の菊川の目標の姿で、現在のマスタープランは小学校単位のまちづくりを進めている。

⑮ 均衡ある発展の課題は。

⑯ 無秩序な市街地域拡大を抑制し、コンパクト+ネットワークのまちづくりが必要である。

⑰ 次年度策定の農業振興計画の中で土地利用規制についての検討は。

⑱ 今後計画があった場合は、他の動向を踏まえ検討していく。

エコパにおける小学生の陸上競技大会、アエルでの小中学校合唱祭は種々の理由により今年度で廃止される。子ども達の励みの場であり、交流の場でありとすばら

しい面を沢山持った催物と促え、次の点について伺う。

⑲ 廃止について教育長の見解は。

⑳ 両事業共意義のある事業であるが、「新学習指導要領の完全実施」の現状況下では継続は困難である。

㉑ 廃止について父兄からの反応は。

㉒ 終了を惜しむ声はあったが、批判的な意見は寄せられていない。

㉓ 型にこだわらず、今後交流の場の確保はできないか。

㉔ 学舎運営協議会の中で考えて行きたい。



▲市内9校の小学生が集まって開催された陸上競技大会（エコパ）

一般 産業振興について問う

西下 敦基 (市民ネット)



日本経済の先行きは見直しが難しく、変化のスピードが上がり、不確実性が高くなる。永続的に発展し、魅力ある菊川市であるようお願い質問した。

◎ 平成30年4月に施行された「菊川市中小企業及び小規模企業振興条例」での新しい取り組み及び影響は。

◎ 経営基盤の強化や人材の育成及び確保において、中小企業等が行う生産性向上の設備投資への固定資産税の特例措置を実施。高校生・大学生を対象とした企業見学バスツアーの開催や市内企業19社の情報をまとめた市内企業紹介情報誌を発行。経営基盤の強化に一定の効果があつたと考えるが、一方で人材確保対策についての課題が見えている。

◎ 今後策定される「菊川市中小企業及び小規模企業振興推進プラン」について、期間を設定してP D C Aを回す必要は。実効性向上にむけて市民・企業・行政・金融等からの組織よっての評価や提

案を受けるような協議体はあるのか。

◎ 市の施策事業は第2次総合計画で進捗管理を行い、プランについては必要に応じ見直しを行う。協議体は設置していないが、地域経済活性化推進会議や商工会、創業支援担当者会議等において意見等いただいている。

◎ 就職氷河期世代の把握及び就労支援は。

◎ 本市の支援対象者数は把握していない。今後、国から具体的な取り組みが示されるので、国・県と連携し適切に取り組んでいく。

他に「明るい選挙」、「人生会議の取り組み」について質問しました。

菊川市中小企業及び小規模企業振興基本条例



一般 静岡県総合防災訓練の共催地

水野 貞幸 (みどり21)



「東海地震」「南海トラフ巨大地震」に備え、静岡県総合防災訓練が菊川市を共催地として、8月30日(日)に行われる。市には相当な負担だが、市民の防災意識の向上や関心度を高める絶好のチャンス。みんなの被害軽減を願って質問する。

◎ 訓練想定、テーマ、重点などの概要と計画は。

◎ 震度7を想定。自助は自分と家族の命を守る、共助は児童生徒の参画した、多文化共生の避難所運営、公助は運動公園で自衛隊・県警と救出・救助、平川地区でモデル避難所、アエルで物資配送訓練等を行う。今年度の重点事業で、多くの人の参加が必要。

◎ 各訓練場所の視察・見学は。

◎ 各会場での訓練内容を情報共有することは必要で、地区等から要望があれば調整・案内する。例年、小規模であるが視察している。

◎ 訓練内容を映像で資料保存し、自主防で活用を。

◎ 記録担当者を配置して写真・動画を集約し、自主防災会に情報提供し、活用していきたい。

◎ 盛夏対策は考えているか。

◎ 暑さの中での訓練となる。飲料水を携帯して訓練に参加、体調管理の注意喚起を徹底したい。熱中症対策は、日陰づくり、給水、噴霧等を用意して安全な訓練実施に取り組んでいく。

他に「ICTの有効活用の実現」について質問しました。



▲防災訓練のようす

※令和2年度静岡県・御前崎市・菊川市総合防災訓練は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け中止となりました。なお、例年開催している総合防災訓練(8月30日予定)については現在検討中です。

一般 デジタル行政構想＋SDGs 118
小林 博文（市民ネット）



行政のデジタル化推進により、職員の作業効率化と市民の利便性を上げる。また、持続可能な社会構築を目指すSDGsを行政へ取り入れ、この二つを融合して、市民福祉の向上、職員の働き方改革・作業の効率化を8（無量大）にしていく事を提案するために行政側の考えを問う。

◎ 様々なデジタル技術を行政へ、将来どのように活用していくのか。

▲ 市としてAI、ICT等の革新技术の活用に取り組んでいる。明確な回答は難しいが、行政情報オープンデータ化と各種申請のオンライン化を推進していく。

◎ 持続可能な社会の構築SDGsを行政へ、どう組み入れ活用するのか。

▲ バッジ着用で職員の意識高揚や施設への目標表示で市民の理解を深める。市の政策や施策はSDGsの理念に該当している。次期総合戦略等へも視点を取り入れていく。



◎ 各スポーツ施設や地区センターの予約をインターネットを介して行う考えは。

▲ 施設予約状況閲覧システムを使用しての予約を検討中だが、複雑で課題があり導入に至っていない。

◎ 広報菊川等の自治会へ依頼している回覧物をスマートフォン等のアプリケーションにより市民へ提供する考えは。

▲ 回覧物は電子化、多言語対応に取り組んでいる。アプリケーションは普及に時間がかかる。手軽で効果的な配信方法を研究していく。

一般 集中豪雨・暴風雨時の課題と対策
山下 修（みどり21）



◎ 避難状況の把握、避難所の指定・開設の課題は。

▲ 地域の公会堂など任意の避難所の状況について、すべての把握はできていない。今後の課題については、避難所の運営、環境改善、指定避難所の見直しなど多くの課題があるが、地域の方の協力をいただき進めている。

◎ 黒沢川地区などにおける内水面氾濫の原因と対策は。

▲ 主な原因は、牛淵川本線の水位が下がらなかったため、支線の河川に影響したことだと認識している。国土交通省の補正予算等により、菊川や牛淵川において河道掘削や堤防補強など計画に基づき整備しているが、抜本的な対策も協議を進めたい。

◎ 立地適正化計画の策定において、豪雨災害リスクを考慮した居住誘導地域の検討は。

▲ 用途地域内において一定以上の人口が集中し、生活の利便性や公共施設等が持続的に確保される

よう、居住を誘導すべき区域として、土砂災害特別警戒区域や一定以上の浸水深が想定されるエリア等、災害リスクのある区域を除外するよう検討している。

◎ 暴風雨に対する、森林管理の対策は。

▲ 管理されていない森林の増加は、土砂災害や、倒木による送電線の破損に伴う停電の原因となると考えられる。適正な管理の周知と、森林経営管理制度の活用を検討していく。

他に「ジャンボタンシ」による水稲被害と対策について質問しました。



▶ 総合的な治水対策のイメージ図（国土交通省HPから引用）

一般 協働のまちづくりについて

横山 隆一（日本共産党）



菊川市では、政策形成過程における公正の確保と透明性の向上を図るため、パブリックコメントを実施している。事業の意思決定において最も重要なことは、パブリックコメントの実施に至る過程において、市民との情報の共有が形成されているかである。

◎ 広く広報するため地区センターなどへの設置をすべき。

△ 所管課・図書館・HPが基本と考えている。計画の自身に合わせ多くの意見がもたれるよう考えていく。

◎ アンケートでは、菊川駅整備費を示すべきであった。

△ 駅北構想を策定する為のものを整備費を示して行う趣旨のものではない。

◎ 市議会勉強会で提出された資料が回収された。議会への説明は市民への説明と理解しているが。

△ 公共交通施設のセキュリティを考慮し、安全運行のため回収した。議会・市民への説明は同様と理解している。

一般 財政と菊川の将来像を問う

織部 光男（無所属）



◎ 菊川駅整備より「駅北開発」を進めるべき。

△ 駅整備の凍結はない。駅北開発は地元と調整中である。

◎ 協働のまちづくりには、市民・行政・議会の役割を明確にする「自治基本条例」が必要だが。

△ 市民の意見を反映することは重要だが、現時点では制定の予定はない。

※ パブリックコメントとは、市の計画などを公表し、意見を公募し最終的な意思決定を行う制度で「市民意見公募制度」とも呼ばれます。他に「お役所言葉の改善」について質問しました。



▲菊川駅

財政は「入るを量りて出ざるを制す」が基本である。1962年

田中角栄大蔵大臣の時、国債発行をして将来から借金をした。首相に

なり列島改造開始。人口ボーナス期、生産年齢人口が増え高齢者の医療費・介護費が少ない時期であり成功した。今の日本は1990年

から人口オーナス期、生産年齢人口が減り、社会保障費が重荷・負担の時代に入っており、将来から

借金ができる状態ではない。さて、菊川市の令和2年度予算一般会計

は過去最大197億8600万円である。企業会計を入れると

381億8000万円、将来は大丈夫かと市民が心配をし始めている。

◎ 菊川市が借金できる条件は、その根拠は。

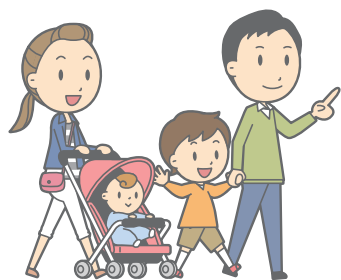
△ 地方財政法第5条各号の要件を満たしている場合と臨時財政対策債を発行する場合となっている。

◎ 税込74億円に対し、30億円の公債費(借金返済)は適正な金額か。

△ 実質公債比率や将来負担比率、償還額に対する交付税処置額の状態などから適正な金額であると考えている。

◎ 財政自主権はないと考えるが、あるとすれば何を指してあるというのか。

△ 課税自主権、市債を借り入れる起債自主権を有する。歳出予算を編成、執行する権利を有しており、財政自主権があるものと考えている。



一般ごみ条例でごみ減量と施設の延命は

一 落合 良子（無所属）



市民がごみの分別をしつかり行い、可燃ごみの減量に努めることはCO2の排出を抑え、地球温暖化の防止になる。更に燃えるごみを処理する「ガス化溶融施設」を長持ちさせ、維持費の軽減、税金の節約にも繋がる。菊川市の令和元年度の一人一日当たりのごみ量は551g、前年対比102.5%と増えている。

京都市では、「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」を制定。平成30年度の家庭ごみの市民一人一日当たりのごみ量は399gであり、政令市で初めて400gを切り、年間ごみ処理コストも削減されている。

Q 当市の可燃ごみと容器包装リサイクルの区別は、市民にしっかりと理解されていますか。

A まだ、徹底されていない部分もある。今までもやっているが、菊川市への転入手続きの時に、ゴミ出しの説明をし、環境衛生委員には更なる啓発、研修等で削減を目指す。

Q 30L可燃ごみ袋への容器包装プラスチックの混入率は。

A 組成調査によるとプラスチック混入率は6%で、近隣市の9%に比べ低い。

Q 資源回収できるものが可燃ごみで燃やされている現状への行政の考えは。

A 排出量の少ない自治会は出前講座を受けていただいている。排出量の多い自治会に対しては、自治会の意向に沿った形での啓発を進めていく。

Q 地球温暖化防止・循環型社会構築へ、罰則規定のない市民に分かりやすい「菊川市ごみ条例」を制定の考えは。

A 菊川市ごみ条例の制定は、現段階では、考えてはいない。



一般 高齢者が元気に暮らせるまち

一 鈴木 直博（みどり21）



菊川市第2次総合計画において、要支援や要介護認定を受けていない高齢者（健康高齢者と言つ）は、2015年が85.8%、高齢化が進む2025年の目標値を82.8%としている。

Q 2025年における市の高齢者および健康高齢者の推定人数は。

A 高齢者を1万2633人と見込み、健康高齢者は1万461人と推計している。

Q 高齢者向けイベントは。

A 市ではスポーツを通じて高齢者がいつまでも健康な状態を維持してもらうことを目的に、60歳以上を対象にしたシニア健康体操教室を総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」の協力のもと、毎年5月から7月にかけて市内3会場で実施している。他に70歳からの健康講座、菊川いきいき体操教室、筋力アップ・能力アップ応援隊養成講座等を実施している。

Q 高齢者のリハビリ体制の充実は。

A 菊川病院には、寝たきりの防止や早期の家庭復帰を旨とした回復期リハビリ病棟があり、2025年に向かって急性期病床を回復期機能の病床への転換を図った。また、職員の活動の場を医療現場に限定せず、専門職の知識を生かして高齢者の転倒予防や運動機能の維持などの健康増進活動へ広げて行くことで、超高齢社会においてリハビリを必要以上に増やさないことに貢献できるものと考えている。

他に「高齢化が進む2025年問題」について質問しました。



一般 保育施設の待機児童対策

赤堀 博 (みどり21)



待機児童とは、保育関連施設への入所を申請しているにもかかわらず施設が満員で入所待ちの児童のこと。特に1歳児、2歳児が入所困難である。

Q 入所希望者、1、2歳児への対応は。

A 入所調整が難しい状況となっているが、調整可能な保育園等をお知らせし、希望園の変更を願ひし、可能な限りの入所調整を行っている。

Q 令和4年度、移転開園する西方保育園は待機児童解消となる取り組みか。

A 新たな園は保育枠定員が90人から110人となり待機児童対策解消に大きく寄与する取り組みと考える。

Q 小規模保育を開設する予定の事業所はあるか。

A 今年度からなかうちだのぞみ保育園が開設しており、令和2年度からは愛育会がおやまのこ保育園を開設準備している。



▲菊川中央こども園

Q 保育士不足対策として行っている大学訪問はどのような内容か。

A 平成28年度から当市独自の取り組みで県内の大学、短大、専門学校を訪問し、市内保育所の求人情報を学生に届けたり、学生の声を市内の法人へ伝えていく。他の確保対策として保育士登録制度の活用や高校生を対象としたふるさとセミナー事業の取り組みもしている。

みんなの声

傍聴者より

2年ぶりに傍聴させていただき、とても勉強になった。議員と市側の真剣さが伝わってきた。

プロジェクターなどを活用した更にわかりやすい運営を期待する。

神聖な議場に国旗と市旗を掲げてもいいのでは…。

傍聴者より

アルファベットの略字やカタカナ表記はわかりづらい。説明を付す等、配慮をお願いしたい。

傍聴者より

すばらしい菊川市になってもらいたい。色々なものに目をつけてもらいたい。

《皆さんの声をお聞かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想や意見をお送りください。もれなく菊川市議会特製“きくのんクリアファイル”をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地
※議会への要望や意見なども受け付けています。



メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です

議会活動レポート



～ ようこそ菊川市へ ～

菊川市議会では、多くの市町からの視察研修を受け入れています。おもてなしの心で対応し、担当を決めて説明を行います。

令和元年度は、茨城県や兵庫県など全国各地から18市町の議会の皆様を迎えました。「議会だよりのリニューアル」「議会改革」等議会活動に関する研修や「家庭医療養成プログラム」「多文化共生」等市の担当課に説明を求める研修などがありました。



「静岡県西部地区市議会議長協議会」 「静岡県市議会議長会定期総会」 菊川市が開催市で行われました

1月15日に県西部地区市議会議長協議会（小菊荘に於いて）、1月31日に県市議会議長会定期総会（掛川グランドホテルに於いて）が菊川市を開催市として実施されました。県内各市議会の正副議長があかつちクリニックの津田センター長の講演や日東工業株式会社の視察に参加しました。



『議会改革第2ステージ』における 議会改革のあり方

1月24日、議会改革への意識を高めようと青森中央学院大学 佐藤准教授をお招きし、議員研究会を開催。議会基本条例が制定され10年が過ぎた今、『議会改革第2ステージ』としてチーム議会の活動の充実、議会改革のサイクル化、政策サイクルの確立が必要とされ、特に市民参加を促し、議会活動の理解・協力を得ること。議員間討議を充実して議案の審査、政策提言を充実させること。市議会が率先して対話によるまちづくりを推進すること。の必要性を感じました。



令和元年度第2回原子力勉強会

2月25日、浜岡原子力発電所の1・2号機の廃止措置工場の現場及び解体撤去物の処理状況を視察しました。

国策による事業であり、解体撤去処分についても厳しい管理が求められていました。リスクはゼロにはならないが技術力向上等ゼロに近づける不断の努力を継続すること。隣接市議会として、廃炉の方向性、放射性廃棄物の処分の行方、再稼働への動きを注視していかなくてはならないと感じました。



きかせてママの声

Vol.17

菊川市に住むお母さんに
聞きました。

菊川に嫁いできて6年と9ヶ月。現在3児の母となり、忙しい毎日を送っています。毎週金曜日には近所の地域の居場所でパンの販売のお手伝いをするようになりました。実は人見知りの私。そんな私でも温かく受け入れてくださるお客様や皆さんのおかげもあり、今ではお喋りする時間が楽しみになりました！居心地のいい菊川のまち。このまちで暮らせてとても幸せです。ありがとう

樽松 幸子 さん

6月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

6月	
1日(月)	議案の提案説明
2日(火)	
8日(月)	一般質問
9日(火)	
15日(月)	質疑・討論・採決・委員会付託
25日(木)	委員長報告・質疑・討論・採決
26日(金)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局（35-0941）へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことにについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。



次回の議会のひろばは

8月発行予定です。

(年4回発行)

お楽しみに!

編集後記

新型コロナウイルスへの感染に歯止めが掛からず、「緊急事態宣言」が出されました。特に「三つの密」、密閉（換気の悪い密閉空間）、密集（大勢がいる密集場所）そして密接（間近で会話する密接場面）が重なった場合が危険だと言われています。

本号でも安全を第一に考え、予定していた市民と議会をつなぐ特集記事の取材をお休みさせていただきました。早く先月のスーパームーンのような大きな月を皆さんで楽しめる日が来ますように。(編集委員 鈴木 直博)

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています!



ダウンロードはこちら



マチイロ

表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

菊川市観光協会主催

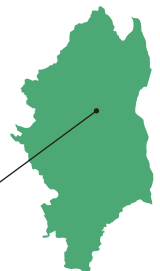
第4回 菊川市みどころフォトコンテスト

入選作品

「そよ風の丘」

三ツ井 稔さんの作品

撮影地：
菊川市青葉台三丁目



処分するときは雑がみとして
リサイクルを!

